



# 育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

## 【2月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 ネットトラブル防止  
スマートフォン、SNS等の安心・安全な利用の啓発、ペアレンタルコントロールの推進
  - 2 危険な遊びの防止  
路上でのスケートボード、危険玩具での遊び、火遊び等への声かけ・啓発活動
- ※ 春のあんしんネット・新学期一斉行動

## 人との繋がりを大切にする育成を



私の職場には、電話の取り次ぎ連絡が入った際、「わかりました」ではなく「ありがとうございます」と返す職員がいます。温かみのあるその言葉は、幸せな気持ちをもたらし、人と人を繋ぐ大切な言葉であると実感させられます。

今年度の「こころの言の葉コンクール」の作品集を読んでいたら、私と同じような気持ちになっていらっしゃる方がおり、共感することでした。

### 題 「今のあなたに伝えたい事」

「ありがとう」「ありがとう」  
小さい頃からよくありがとうと言っていましたね。小さい頃は、その言葉を聞かされた時にほほえましく、嬉しく思っていました。

小学生になり、高学年になっても、相変わらずどんなささいな事にも「ありがとう」と言っていましたね。素直に「ありがとう」と言えるのは、とても素敵な事だと思います。

そして中学生になり、男の子の反抗期が来るのが楽しみなような怖いような気持ちでいましたが、小さい頃と変わらず、「ありがとう」という言葉。あなたのおかげで「ありがとう」という言葉が

どれほど大切か、人の心をあたたくするか、どんな言葉よりまわりを幸せな気持ちにするか知る事ができました。「ありがとう」の大切さを教えてくれて本当にありがとう。

これからも、高校生になっても結婚しても今まで通りの「ありがとう」を言える人でいてください。そうすれば人生のほとんどがうまくいきます。そうすれば自分も周りの人も必ず幸せになります。

この中学生のように、自ら「ありがとう」の言葉を遣えることは、とても素敵なことでありますし、青少年の育成を考えますと、こんな素敵な言葉で、人との関わりを大切にする子どもを育成していくことが、今、求められていると考えます。

その理由は、残念ながら現在、思いやりに欠けた言葉で人を誹謗中傷し、嫌な思いをさせる人が増えているように感じているからです。

人は、人との繋がりの中で助けたり助けられたりしながら成長していきます。子どもが、人との繋がりを大切にする心や態度を身に付けるには、我々大人が範を示す生き方をしていくことが大切です。子どもが進んで相手を思いやる心や態度を身に付けられるよう温かい環境を作っていきたいものです。

## 二十歳の若者の底力



令和5年1月8日(日)、成年年齢引き下げ後では、記念すべき第1回目となる鹿児島市「はたちの集い」が開催されました。その運営に携わる実行委員会は令和4年1月から始動しており、1年かけて「集い」をつくりあげてきました。

今年度は15人の実行委員が月に1回以上のペースで実行委員会を開き、実行委員長班、企画班、広報班、抽選班という4つの班に分かれて、時間が足りないくらいの活動を重ねてきました。厳粛な式典に向けて「代表のことば」を何度も推敲する姿、広報用のポスター作成に奮闘する姿、抽選のために多くの提供品を獲得しようと奔走する姿、また今回が初めての取組となった鹿児島市の将来を考える「トークイベント」では、先輩社会人の方々等にアドバイスをいただきながら、「0」から創り上げ、市長にもご登壇いただき、素晴らしいトークイベントとなりました。「場は人を育てる」といいますとおり、毎回、会を重ねて行く中で、実行委員としての自覚と責任が深まり、短期間のうちに、凄まじい成長を遂げ、「はたちの集い」を成功に導いてくれました。

二十歳の若者の底力に感謝するとともに、実行委員から学ぶことの多い日々でした。

## 「こころの言の葉コンクール」の作品から

中学生とその親の心の交流を図る目的で始まったこの事業も20回目を迎えました。本年度も読む者の心を揺さぶる多くの応募がありました。

本作品集は、親と子の交流を通して、お互いの存在を考える作品が多く掲載されていますので、市ホームページにて閲覧ください。

### 題 「気づいているよ」

気づいていないフリしているけど、いつも私のことを思っているのに気づいているよ。朝早くから起きて弁当をつくり、家を出るのを見届けて、急いで仕事に行っている姿が目につくから。

笑って明るくふるまって、いつも疲れをごまかしているけどそれも気づいているよ。いつも無理して夜中まで起きているのをこっそり見ていたから。

怒っているのも悩んでいるのも全部気づいているよ。だって、私はお母さんの娘だから。ずっと育ててくれたから。

何て声をかければいいのかわからないからフリをしているけど、気づいているよ。

(令和4年度「こころの言の葉」作品集より)

【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 12月の声かけ人数 482(207) 前年同期 519(218)

◇ 12月の学職別声かけ人数 ( )は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	50(17)	82(25)	306(151)	0(0)	0(0)	0(0)	438(193)
その他	17(0)	1(0)	26(14)	0(0)	0(0)	0(0)	44(14)
合計	67(17)	83(25)	332(165)	0(0)	0(0)	0(0)	482(207)
前年度比	14(3)	▲26(4)	▲22(▲18)	▲3(0)	0(0)	0(0)	▲37(▲11)

◇ 12月の地区別声かけ人数 ( )は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	260(126)	53.9%
天文館	101(46)	21.1%
谷山	99(26)	20.5%
上町	2(0)	0.4%
鴨池	18(9)	3.7%
伊敷	2(0)	0.4%
その他	0(0)	0.0%
合計	482(207)	100.0%

- (合同声かけ)声かけ活動時に、ゲームコーナーの従業員さんから、育成委員手帳の呈示を求められた。しかし、声かけに参加した全員が個人写真を貼っていなかったため、「これからはお願いします」と指摘を受けた。
- 映画館の待合室で、椅子に腰掛けスマホを片手に話している制服姿の〇〇高校3年生女子3人に声を掛けた。3人は、上映時間がまだなので待っていると話したので、コロナ対策とともに映画終了が遅くなるので帰りは気を付けるよう助言した。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月~12月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ( )は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	55(32)	27(3)	1(0)	0(0)	11(6)	40(15)	1(0)	2(2)	5(3)	142(61)	▲23(21)
西署	20(7)	62(10)	0(0)	0(0)	3(1)	62(14)	1(1)	0(0)	3(2)	151(35)	80(22)
南署	21(4)	36(6)	2(2)	0(0)	0(0)	68(22)	3(3)	0(0)	3(2)	133(39)	37(23)
累計	96(43)	125(19)	3(2)	0(0)	14(7)	170(51)	5(4)	2(2)	11(7)	426(135)	94(66)
割合	22.5%	29.3%	0.7%	0.0%	3.3%	39.9%	1.2%	0.5%	2.6%	100.0%	
当月合計	1(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	8(1)	※発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ( )は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	2(1)	4(2)	6(1)	2(0)	7(1)	1(0)	22(5)	▲2(▲2)	24(13)
西署	7(1)	10(0)	13(5)	1(0)	5(1)	0(0)	36(7)	5(▲2)	33(12)
南署	10(1)	11(5)	10(6)	3(0)	6(0)	3(0)	43(12)	▲8(▲1)	37(17)
累計	19(3)	25(7)	29(12)	6(0)	18(2)	4(0)	101(24)	▲5(▲5)	94(42)
割合	18.8%	24.8%	28.7%	5.9%	17.8%	4.0%	100.0%		
当月合計	0(0)	4(2)	11(7)	3(0)	2(1)	0(0)	20(10)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 12月に市内小学校1校、中学校2校で非行防止教室を実施した。また、小学校1校、中学校1校で薬物乱用防止教室を実施した。
- 居場所づくり活動では、12月18日に大学生ボランティアの少年サポーターを含む18人でクリスマス会を実施した。1月下旬に、吉野町志光窯で陶芸教室を実施予定である。
- ヤングテレホンは0件であった。
- サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込みが見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- 補導職員が、午前と午後中央駅近辺を巡回しているが、特に気になるような事案はない。